

生産体制・技術確立支援事業（新品種・新技術の確立支援事業）に関する事業評価票

番号	事業実施主体名	新品種・新技術等の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 令和2年	目標年 令和5年		
1	福岡県	スモモのジョイント栽培技術の確立および技術マニュアルを核とした産地育成	R3年度	産地と実需者からの意見を取り入れながら、本県のスモモのジョイント栽培技術を確立し、技術マニュアルを作成、既存産地の維持とともに新たな産地の育成を図る。	—	栽培技術に関する手引きを作成し、県内の農家向け指導資料として配布・栽培指導したことにより、栽培面積も増えてきている。 栽培面積 R2 2ha、R3 2.5ha、 R4 5ha	- モデル産地に実証ほ（4カ所）を設置し、実態調査や検討会を開催。 「スモモジョイント栽培マニュアル」を作成し、農家向け指導資料として配布、栽培指導を行った。	農家向け指導資料として栽培マニュアルを作成、指導を行うことでジョイント栽培が普及し、栽培面積の増加が図られたことから、成果目標は達成した。
2	熊本県	高濃度炭酸ガス処理と天敵利用によるイチゴのハダニ類の防除技術	H30年度	新規防除技術を3地域において普及定着させる。	—	1地域の定着	- 高濃度炭酸ガス処理装置の共同利用体制の構築。 - 生産部会との意見交換等や講習会等の開催。	本技術の有効性が示され、1地域に導入された。一方、既存の天敵防除技術と費用が同程度で効果も同等の新たな技術が開発され、普及も進んでいるところ。このため、本技術が今後他地域に普及定着することは見込めず、目標未達はやむを得ないと認められることから、今年度で評価を終了する。